

ご来院の皆様へ

新橋健診センター の紹介



新橋健診センターは2019年1月、N棟(新外来棟の向い) 2階にオープンしました。新たにオープンした施設では附属病院と同等の高性能な検査機器により全身の系統的な検査を短時間(約2時間)で効率的に行うことができます。

また、検査の結果により精密検査・治療が必要となった場合には、東京慈恵会医科大学附属4病院の専門医に紹介いたします。

ゆったりした空間・短い待ち時間

広々とした落ち着いた雰囲気の診察ロビーと独立した明るい女性検診用のロビーを設え、診察や検査までの待ち時間をゆったりとすごせます。また、各検査をお待たせしないようスタッフが常に診察ロビー全体を見渡し、円滑に検査できるようご案内しています。



新型コロナウィルス感染症対策

受診者様の安全を第一に考え、3密に配慮するとともに検査前トリアージでは1週間の検温と当日の体調を確認させていただいている。また、ロッカー室もゾーニングにより受診者様が密にならないよう配慮しており、十分な空間での更衣ができます。



安心のフォローアップ体制

人間ドック専門医による診断の結果を2~3週間程度で郵送いたします。必要に応じて東京慈恵会医科大学附属4病院の専門外来に受診できるよう医療連携室を通じてご紹介いたします。

もちろん、ご希望により自宅に近い医療機関への紹介もいたしますので、健診後に通院が必要となつた場合でも安心です。

最新の高性能検査機器と専門医による検診

全身 PET がんドックや大腸カプセル内視鏡をはじめ、乳腺エコー や脳血管の病変の診断能力が高い MRI(3 テスラ)、胸・腹部 CT などの高精度の検査機器により、質の高い検査を受けることができます。また、各専門医により疾患を的確に診断します。



充実のオプション検査

ライフスタイルや年齢に合わせて、以下のような各種オプション検査を選べます。

物忘れドック

骨ドック

肺がんドック

糖尿病ドック

性ホルモンドック

睡眠時無呼吸症候群検査

ホルター心電図検査

メンタルサポート

など

インターネットによる予約

2020 年 11 月よりインターネットによる予約を開始しました。予約の電話が集中してご迷惑をお掛けしていましたが、インターネットでも予約ができるようになりましたので、お気軽にお申込みができます。※日帰り基本コース（胃バリウム）のみとなります。

高齢化社会や生活習慣の最近の大きな変化を受けて、がんや生活習慣病・慢性疾患など、健診の対象となる病態も刻々と変化しております。この様な背景の下、当センターでは、以前から扱っている重要な疾患群はもちろんですが、時代に要求される新たな疾患群に対しても効率よく対応できる体制を心がけております。

2020年12月 東京慈恵会医科大学附属病院 新橋健診センター センター長 加藤智弘

学祖・高木兼寛と病気の予防

本学の創設者・高木兼寛は、明治時代に結核と並んで国民病として恐れられていた脚気の原因が栄養の偏りにあることに気づき、脚気栄養欠陥説を提唱しました。海軍軍医総監だった高木は、白米を中心だった海軍兵士の食事を、パン、肉、ミルクが豊富な西洋食に改善したところ脚気患者が出なくなることを示しました。多くの病気の原因が細菌による感染だと考えられていた時代に、疾病と栄養の関係性に注目したことは特筆すべきことです。

国民の健康を願った高木は晩年、病気にならないためには、食事、清潔な生活環境、運動が重要であることを多くの講演会で説きました。本学の新橋健診センターは疾病の予防の重要性を説いた高木兼寛の精神を継承しています。

お問い合わせ ☎ 03-3433-1111 (内線 5281) 8:00 ~ 17:00

URL <https://www.hosp.jikei.ac.jp/dock/>

